

2024年 6月末現在
 組合員 4,343人
 出資金 1億6,937万円
 5～6月の動き
 組合員 新規加入15人
 脱退10人



第141号
 2024年7月10日発行
 (奇数月発行)
 〒503-0982 大垣市久徳町153-1
 TEL 0584-92-3268
 ホームページ seinou.coop
 編集 機関紙編集委員会



第23回通常総代会開催

2024年度活動方針を決定

新任理事5人が加わる新しい役員体制も決まる

- ・非営利協同組織の理念にそって組織強化と経営の改善
- ・地域組合員と職員組合員の協同を一層強める
- ・平和を守り、社会保障充実にめざす

6月30日、大垣市情報工房ス
 インクホールにて通常総代会を開
 催し、総代72人と役員57人あ
 わせて129人が出席しました。

総代会開会にあたり、松岡恵子
 理事から今総代会が定款に基づ
 き、出席定数を満たしており、成
 立していることが宣言されまし
 た。議長に揖斐支部の小倉文雄総
 代と西濃南部支部の新垣美代子総
 代を選出して議事が始まりまし
 た。

木村隆之理事長が開会の挨拶を
 行った後、全岐阜県生活協同組合
 連合会の根崎周一会長理事から来
 賓挨拶をいただきました。

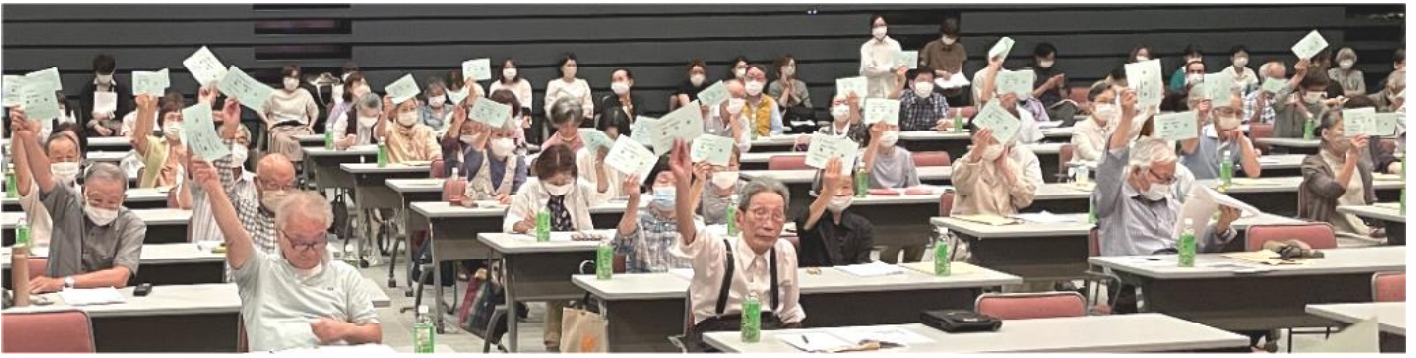
理事会を代表して中村英洋専務
 理事から7つの議案が一括提案さ
 れ、全体討議を行いました。総代
 からの質問や意見と、事業所から
 報告が出され、全体討議のまとめ
 を行った後、全議案が賛成多数に
 より可決されました。また、新理
 事の職員理事3人と支部推薦の2
 人を含む28人の理事と2人の監
 事が選任されました。

せりゅう

「環境が人を作る、その環境は人が作る」という言葉を聞いたことがあります。私自身、西濃医療生協に入職するまでに、病院、訪問看護ステーション、整形外科クリニックでのリハビリテーションに従事し、理学療法士としては経験を積んできました。しかし、しずさと診療所での経験はこれま

では違うものでした。医師の丁寧な診察、看護師による予診、送迎の会など、診療所全体に病気の治療だけではなく、患者様の生活に寄り添おうという環境があったのです。また診療所で行われる多職種カンファレンスでは、病気のことだけではなく、患者様の生活全体に関する課題についても報告があげられます。多職種が関わるからこそ、それぞれの視点で情報が集まり、最善の解決策が考えられていきます。そんな日常が当たり前に行われる診療所の環境が、私の働き方の意識や行動に影響を与えました▼リハビリテーション提供体制も大きく変わっています。入職した14年前は、理学療法士が2名だけでした。しかし現在では、しずさと診療所リハビリテーション科として、理学療法士7名、作業療法士5名、言語聴覚士2名、介護福祉士3名と、多岐にわたる専門職が在籍するまでになりました。まさに地域に根差したしずさと診療所の環境とリハビリテーション科はともに成長してきたと言えます▼リハビリテーションはチームアプローチであり、重要なことは「チームがどのように協力しているか」ということです。心理的安全性が高い環境であれば働く人の仕事力が高くなり、結果的にパフォーマンスが向上します。働きやすい環境が各リハビリ専門職の最適なりハビリテーションの提供にも繋がり、結果的には地域の健康と生活の質の向上という役割を継続的に果たすことになると思います。どのような環境にいるかによって、人の意識や行動は大きく影響されることは明らかです▼スポーツ界には、「チームケミストリー」という言葉があります。しずさと診療所のリハビリテーション科として、今後どんなチームケミストリーが発生するのか楽しみます。

リハビリテーション科
 科長 青木公一



第23回通常総代会議案

- 第1号議案 活動報告
- 第2号議案 活動方針
- 第3号議案 監事監査規則の改定
- 第4号議案 決算および予算
- 第5号議案 役員報酬決定
- 第6号議案 役員退任慰労金支給
- 第7号議案 役員選挙

理事会を代表して中村専務理事が、7つの議案(左記)を一括して提案しました。

第1号議案 活動報告

新型コロナウイルスが感染症法上の5類へと引き下げられる中、医療・介護現場では引き続き感染対策を実施しながらの事業運営となりました。新型コロナウイルスとインフルエンザがはじめて同時流行した昨冬、診療所では発熱外来を拡充し、介護事業所では感染対策を強化して、患者・利用者の方々の想いに応える事業活動を展開しました。しかし、医師の退職に伴う外来患者減や介護事業所での利用減などによる収益減は、次年度への大きな課題となりました。

一方で、班活動は昨年度に引き続き増加し、過去最高を更新

しました。4年ぶりの健康まつりは、班会体験を中心に開催し200名を超える参加者で盛況でした。社会保障拡充・平和を守る活動も地域での学習会や支部での活動などが行われ拡がりを見せ、組合員活動に手応えを感じました。

第2号議案 活動方針

第2次中長期計画の3つの柱に沿って2024年度も活動を進めることが提案されました。理事会を中心に、地域組合員の事業への参画を拡げるとともに、職員組合員との共同の取り組みを進めます。

コロナ禍を経て医療・介護事業の経営はますます厳しい環境に置かれています。西濃医療生協では、非営利協同組織の理念に沿って、それを支える人づくりに注力するとともに、人員配置の流動化や全職員が経営に関わる職場づくり、介護事業計画の策定、外来での院外処方箋の発行などの対応をすすめることとなります。

第3号議案 監事監査規則改定

高田監事より生協法の一部改正を受けた監事監査規則改定について提案がありました。具体的には責任追及訴訟において監

事会として「和解内容の同意」が追加されました。

第4号議案 決算・予算

医療事業収益は3億7365万円、介護事業収益は3億4623万円、合計7億1988万円。前年および予算ともに下回り、事業費用は7億5545万円。予算を下回ったものの、経常利益は▲2859万円。2年連続の赤字決算となりました。

予算方針は、介護事業所での人員配置の見直し等による稼働の改善を見込むとともに、各事業所での予算管理を強化し、理事会・法人管理部を中心に経営改善に取り組みます。

第5号議案 役員報酬

役員報酬規定で定める基準に基づき、常勤の専務理事および常務理事2人の報酬総額を年間3200万円の範囲内とする提案が行われました。なお、非常勤役員(組員)は無報酬です。

第6号議案 役員退任慰労金支給

今期で退任される3人の理事に、規定に基づく慰労金支給が提案されました。

第7号議案 役員選挙

宇津時雄選挙管理委員長から役員選挙の経過報告が次のよう



今期で退任された(右)松岡恵子さん(下)谷出二三江さん

他に平野寛さんが退任されました。

に行われました。5月に役員選挙を公告し、候補者を募り、候補者が定数の範囲内であったため、選挙規定に基づき、投票を省略して全員当選とする提案がされました。

今回の改選では、理事28人中、23人が留任、新任で選出されたのは5人で、支部推薦の笹田トヨ子さん、川地幸弘さん、理事会推薦で職場からリハビリ科の青木公二さん、ケアマネの木村航さん、シヨートステイの古川正裕さんです。監事2人は留任です。

採択の結果、全議案が賛成多数で可決されました。

議案討議

しずさと診療所の水野事務長より、マイナ保険証の取扱

について、現在、診療所で実際に使用されている方は1、2%程度であること、紙の保険証については廃止時期とされて今年12月以降も保険証の期限内は継続して使用ができること、その後も資格確認証の配付がされること等が報告され、引き続き紙の保険証を残すための取組みを進めるので協力をお願いしたいとの報告がありました。

訪問看護ステーションの正岡所長からは、法人として強めてきた職員育成の課題について

重点課題

①外来での院外処方箋の発行について

昨年度総代会において一部(在宅患者さん)院外処方箋発行開始することを確認し、昨年10月より開始しました。外来については、これまでしずさと診療所では、薬剤師を配置し、院内調剤を継続してきましたが、薬剤師の確保が困難であることや医薬品の購入価格の増加などの理由から2025年度より外来においても院外処方箋を発行

いて、事業所として取り組む専門職の育成・研修について報告がありました。

しずさとデイサービスの堀井課長からは、デイサービスの利用者減少への対策について報告がありました。職員体制を改善し、話し合いを重ねて「利用者さんに楽しんでもらうこと」を大切にレクリエーション活動の工夫などに取り組んできています。現在は利用数も改善傾向にあります。

リハビリテーション科の青木科長からは、リハビリテーション・患者・利用者さん自身の希望に寄り添ったリハビリテーション

することを確認しました。

②医療生協の脱退の取扱について

ご本人の自由意志による脱退(自由脱退)については、法令・定款に基づきその年度末に処理を行うことを昨年度総代会において確認しましたが、組合員の皆さんへの周知が進んでおらず、一年延長し、2025年4月より実施することとしました。機関紙での周知に加え、事業所内掲示やホームページへの掲載などにより周知活動の強化に努めます。

シヨンの実施に向けた取り組みを行っていることを事例をあげて報告がありました。

会場からの質疑では、外来での院外処方箋発行にあたって、窓口での一部負担金や、診療所での事業収支への影響などについて質問がされ、中村専務理事は、一部負担金については1割負担で1回あたり150円程度の負担増となること、事業収支については年間800万円ほどの改善が見込まれるとの回答がありました。併せて、年内に支部などで説明会を開催する計画であるとの発言がありました。

会場から、医療生協の事業を利用していた知人から事業所・職員さんへの感謝の言葉を聞いて感動し、職員さんにお伝えしたい、コロナ禍での事業継続大変なご苦労だったでしょう、頭が下がります、お疲れさまですと、職員への激励の発言もありました。

討議のまとめ

中村専務理事は、職員への応援の言葉に感謝の気持ちを述べ、討議のまとめとして次のように発言しました。経営状況だけでなく、人材

確保や社会保障・平和をめぐる課題など西濃医療生協は引き続き大きな課題に直面していますが、私たちは非営利協同組織の理念を常に共有しながら、医療・介護事業の質をさらに向上させ、経営改善に取り組み、地域・組合員の財産である西濃医療生協を将来にわたり継続できる基盤づくりに一緒に取り組んでいきたいと思います。

日常生活支援・福祉有償運送

NPO 西濃たすけあい 発足から3年が経過して

西濃医療生協が、たすけあい活動の分野をNPO化して「西濃たすけあい」を発足してから3年が経過しました。

主な活動は、日常生活支援(診察や買い物付添、部屋や庭の掃除など)と福祉有償運送(介護や障がい認定者を対象)を行っています。

2023年度の実績

生活支援の利用者53人、担い手23人、年間の依頼件数は389件で前年度28%増でした。

た。

福祉有償運送の利用者104人、担い手12人、年間の送迎回数は2718回で前年度22%増になりました。

財政状況は、利用料収入271万円に対し、活動手当190万円、車両関係費110万円など事業費用が326万円です。事業収支は▲55万円ですが、入会金・寄付金72万円です。経常収支は17万円になりました。

有償ボランティアを常時募集しています。お問合せは、事務局080-3645-3268までご連絡ください。



前列5人が新任理事(右から青木さん、古川さん、木村さん、笹田さん、川地さん)

赤坂支部健康サロン

5月16日午前10時より健康サロンを開催しました。23人の参加で今回はしずさと診療所の西村美咲看護師を講師に招いて「あなたの病気について何でもトーク」と題して行いました。

最初に講師より診療所の方針内容について住み慣れた地域と環境で元気で安心して住み続けられるようにサポート

トし、①かかりつけ医 ②早期発見③病気の予防④訪問診療⑤リハビリにより、一人一人の生活に寄り添ったサービスを提供する、しずさと診療所の使命についてわかりやすく熱く語っていただきました。

「何でもトーク」では、栄養剤やサプリメント、薬など服用の注意や考え方などについて質問が出ました。診察時に医師に聞きたい

ことがなかなか聞けないし話せないとか、看護師さんにも話せない聞けないとの声に、西村看護師は、何でも聞いてもらっていいし、思っていることを言ってほしいと話されました。最後に院外薬局になることの不安や質問などが出ました。

短い時間でしたが看護師さんとのトークは有意義で、また機会を設けていきたいと思われました。 宇津時雄



大垣西支部 荒川町健康班会

自宅から歩いて参加できる気軽な班会を毎月1回続けて6年になります。班会の登録メンバーは6人ですが、4〜5人が集まっておしゃべり交流をしています。

6月は、しずさと診療所リハビリテーション科言語聴覚士の榎田衣通子さんにおいていただき、飲み込みの注意や唾液の出し方を教えていただきました。普段から声を出す、食事をきちんと取るなど日常生活の大切さを学びました。

数人の方に声を掛けましたが、

今月も4人でした。来月は7月18日にお出かけ交流をすることを決めて終わりました。

班長 中尾恵美子



神戸支部

総会と音楽療法体験



5月27日、神戸町中央公民館で総会が開催され、朝から雨がひどく心配でしたが、20人が参加されました。

総会では、神戸支部の活動をふりかえり、新たな1年の方針を決めました。組合員活動部長の松岡和彦さんから診療所やたすけあいなど組合員活動の現状も聞けました。

その後、音楽療法士の日比裕子さんの指導

で、懐かしい歌を歌ったり、リズムに合わせ指の運動をしたり、ハンドベル、スカーフなどをを使い、音楽にのって楽しみました。1時間があつという間に過ぎました。オーバーかもしれませんみんなの顔も10歳くらい若返ったように見えました。

日比先生、準備してくださった方々ありがとうございました。 野上睦子

大垣中央支部

支部総会と健康講座

5月9日、スイトピア学



習館で総会を開催。総会前に、しずさと診療所理学療法士の堀向新之介さんの健康講座を開きました。この講座は1月の予定でしたが大雪で延期されていたため皆さん待ちかねていました。

「今、最先端の自主トレーニング！」という演題で、胸・腰・膝・股関節などのストレッチを教えていただきました。理学療法士として日頃患者さんを診ていて「姿勢が悪い」「身体が硬い」「腰・膝が痛い」のは実は胸郭や股関節の硬さが

原因の人がとても多いと実感されてのご指導だったので、私たちにも納得のいくお話とストレッチでした。

この講座を動画とかDVDに残してどの支部の方にも見ていただきたいねというのが参加者の声でした。

体操のあとはお待ちかねの、堀向さんによる三線の演奏と沖繩の歌のコーナーでした。先生の三線の音色と声に酔いしれながらみんなで歌う、とても楽しいひとときでした。

松岡恵子

宇留生支部 健康講座

「家族が認知症になったらどうなるの？」

5月25日、青墓地区センターにおいて健康講座を行い、15人が参加しました。しずさと介護支援センターのケアマネジャーの浅野多美江さんと佐竹麻里さんから認知症に関わるお話を聞きました。

「家族が認知症を患う」それは親であったり伴侶であったり、これまで支え合ってきた大切な人であるだけに、直面する悩みや戸惑いも多いと思います。私自身も介護の悩みを抱える一人です。それゆえ興味深くお話を聞



くことができずして。

行政機関の手続きや相談窓口の紹介があり、認知症の症状、家族の立場、また医療面からのサポートなどそれぞれに合わせた窓口があることがわかりました。

認知症には4つの種類があり、原因も症状もそれぞれに特徴があり、症状が似ていても別の病気の可能性もあり、医療機関を受診することが大切だとわかりました。

では、認知症の家族とどのように接したらよいのでしょうか。本人に何回説明してもわかってもらえない、わかってくれたと思ってもまた同じことをしてしまう：そんな繰り返しです。家族は安心して穏やかな生活を送ってほしいと願っているのはもちろんですが、身近な人であればなおさら、わかってくれるだろうという思いがあり、そのギャップに戸惑うのです。生活の中でついつい命令したり、怒鳴ったり、急かしたり。これらの行為が知らず知らずに混乱

や怒りを呼び起こしてしまつことがわかりました。

この講座に参加された方の介護談として、「相手が自分の親だと思わず、一人のご老人と考えて介護するようになってから随分気持ちが楽になった」とのお話が印象的でした。確かな人生を送ってきた親を見ているからこそつらい現実もあると思いますが、距離をとって今を見つめることが介護する者、される者の両方にとって大事なことでありと教えてくれました。

幸い私には相談できる家族がいることで、距離を置く自分を作ることにつながっていると思えます。家族ばかりではなく、ケアマネさんに相談したり、家族の会に参加したりして、一人で抱え込むことのないようにしていきたいものです。

短い時間でしたが、いろいろ考えさせられるひとときでした。私自身、介護の真っ最中、今日学んだことを生かしていきたいらと思えます。

宮川恵子

不破支部 健康講座

5月25日、ワイワイプラザ垂井にて支部総会後、第2部として健康講座を開催しました。講師はレッツたるいの嶋田民子さん。「貯金より貯筋でフレイル予防」というテーマで行い、25名が汗を流しました。



その場で足踏みをしたり、椅子に腰かけたまま、つま先をあげたり、かかとを上げたり。動き自体は簡単ですが、何回も続けるとふくらはぎが痛くなったり、だんだんとリズムについていけなくなったりしました。

「あと10回頑張りましょう。筋肉が増えますよ」という民子さんの励ましに「ああしんど」「ああえらい」と言いながらもみんな頑張りました。何歳からでも筋肉は増やせると聞くと「勇気が出るね」と参加者の皆さんが笑顔で帰られました。

山河由美子

第5回スクエアステップ

体験・交流会

6月12日(水)ワイワイプラザ垂井にて第5回スクエアステップ体験・交流会を開催し、指導員を含めて28名が参加しました。今回、体験会に初めて参加された古山明美さんより感想をいただきましたので紹介します。

「スクエアステップの体験会があるよ」と誘っていただき参加しました。

西濃地域全体に多くの班会があり、指導者のもと活動していることに驚きました。準備体操も念入りに行い指導者のお手本の後、参加者はステップを真似て行いました。皆さん、ステップを間違えないよう真剣で、しっかりとした足取りです。私よりも年上と思われ

る方の意欲とステップに刺激を受けました。一つのステップを歩き終えたと「イエイ」と両手をV字に大きく広げて達成感を味わい、心も体もすっきりして気持ちがいい！足腰の筋トレや脳トレをしなから、和気あいあいと体力づくりが出来て、とても良かったです。私は医療生協に加入したばかりですが、今後いろいろな行事に参加していきたいです。



平和を語り継ぐ夏

原爆と人間展

とき 7月27日(土)・28日(日)
両日とも9時～15時

ところ スイトピアセンター3階展示室

- ◆広島の高校生が描いた「原爆の絵」展示
- ◆DVD放映『戦後76年 被爆者たち 語り継ぐ』
- ◆被爆稲の展示

子どもとおとなの平和広場 (同時開催)

とき 7月28日(日) 10時～11時30分

- ★寺ちゃんのピースソング
- ★被爆体験者の話を聞いてみよう～岐朋会の方のお話～
- ★被爆2世として&平和行進報告
- ★体験・交流コーナー ～千羽鶴を作って届けよう～
コープぎふ平和コーナー 絵本・折り紙コーナー
スタンプラリーにチャレンジ

主催：岐阜県原爆被爆者の会
 共催：西濃ピースフェスティバル実行委員会
 問合せ先 大垣おやこ劇場 0584-73-8222
 ※月・水・金10～17時
 西濃教育会館 山岸 090-2689-3438

西濃南部支部

総会と地区別総代会議

昨年6月に田中信義さんから引き継いで支部長になった私、緊張とワクワクで初めての支部総会に挑みました。

前日、司会が決まっていなかったことに気づき、急きよ木村加代子さんにお願いしたところ引き受けてくださり、胸をなでおろしました。総会は木村さんの司会できっとおりにくく進行し

ました。最後に支部運営委員の方々の紹介をし終えて、ホッとしました。

その後、不破支部の皆さんが合流し、和やかな雰囲気地区別総代会議が始まりました。司会は長屋由利子さんに代わり、会場の皆さんから活発に意見が出ました。私も、支部活援助金について意見を出しました。会が終了する頃には始めの緊張もほぐれていました。

新垣美代子



読者投稿

ハッピーモーニング

5月6日朝7時頃中曽根墓地での会話である。「お早うございませす。お元気で良かった」「お陰様でご主人に紹介していただいてから『しずさと診療所』にお世話になっていきます。良い先生方ばかりで感謝しています」「先生が良い！職員の方々が優しい!!それが何よりですね。有り難うございます。夫も喜んでいいると思います」

お花も草臥れているだろうと向かったお墓の水道の所での会話である。「これ良かったら使って」彼女は水を下さった。水道水が温くなっているからである。「偉い方だ！準備が良い」私は有難くその水を頂きお墓に参ることが出来た。「有り難うございます」仏様にもお礼を言った。

彼女は最近「楽らく広場」「スクエアステップ」にも参加して下さるようになり、私はとても喜んでいいる。

N・M

第9回 健康チャレンジ 206人が参加

健康チャレンジに参加して下さった皆さま、結果報告を提出していただきありがとうございます。

今回の参加は206人で、そのうち90の方が目標を達成されました。初めて参加いただいたのは34人でした。年齢階層別では、70歳代が106人で最も多く、80歳以上が49人、70歳未満が49人でした。

112人の方から感想をいただきました。ほんの一部ですが紹介します。

- * 2回目ですが、毎日記入していくということが楽しみになりました。励みにもなります。ぜひ、続けてください。
- * 減量すると腰痛が減るのでマイナス1kgのこのままの体重でいきたいです。
- * 高齢になり目標があると生活や健康に努力する生活になります。

「健康チャレンジ」を通して、健康の輪を広げていくために、お声がけをいっぱいしてもっと参加して下さる方が増えるよう工夫していきたいと思っています。来年もご参加ください。

健康委員会 齋藤葉子

不破支部 平和の祈りコンサートと紙芝居

日にち 8月6日(火) 10:00~11:45
場所 垂井町岩手631 明泉寺
出演 いぶき座 ブレンディ
紙芝居 『しょうげんさん』
問合先 伊藤 22-5719 山河 22-4316

不破憲法カフェ

日にち 8月31日(土) 13:30~15:30
場所 西濃医療生協・組合員より処 ふわのさと
(介護支援センター不破事業所隣)
会費 100円(コーヒー・お茶菓子代)
テーマ 食の安全DVD鑑賞と学校給食について
連絡先 ぎふコラボ西濃法律事務所友の会
藤井 090-7919-5358
西濃医療生協不破支部
伊藤 090-9021-6323

大垣南支部 憲法カフェ

沖縄・琉球狐の声を届ける会共同代表の丹原美穂
さんを迎え、沖縄の話をお聞きます。みんなで
沖縄のこと、平和のこと一緒におしゃべりしましょ
う。*丹原さんの写真パネル展示もあります。
日にち 7月18日(木) 10:00~11:30
場所 江東地区センター
持ち物 筆記用具、飲み物(熱中症予防のため)
問合先 黒田 090-8555-0817

ウォーキング

日にち 7月15日(月・海の日) 雨天 7月22日(月)
場所 荒神山(彦根市)
琵琶湖湖岸道路を西進すると彦根城の西方に
深い森に被われた荒神山(284m)があり、頂上
までゆっくりウォーキング
集合場所・時間 しずさと診療所 7:45
持ち物 弁当、水筒、雨具、登山靴または運動靴
会費 200円+交通費500円

日にち 8月19日(月) 雨天 8月26日(月)
場所 明神湖一周と岩手地区を散策(垂井町)
竹中半兵衛陣屋跡から明神湖までウォーキン
グ。そのあと岩手の集落を散策
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30
持ち物 弁当、水筒、雨具、運動靴
会費 200円+交通費200円
問合せ 杉野茂樹 080-9832-3399
梅村民雄 090-4232-9057

※日程は変更する場合があります。
詳細は、問合先までお尋ねください。



2024 国民平和大行進

核兵器廃絶と平和への願いを
折り鶴に託し職員も参加



5月6日に東京夢の島・第5福
竜丸展示館前を出発した「国民平
和大行進・東京〜広島ルート」が、
6月15日夕刻に大垣市に入り、翌
朝、城西公園から関ヶ原町まで行
進しました。多数の組合員ととも
に職員も5人が参加しました。
ワイワイプラーザ垂井で行われた
歓迎集会では、町長と議長が参加
平和行進者への激励のあいさつが
ありました。
県内最終地である関ヶ原町でも
町長から激励のあいさつと、滋賀
県への引き継ぎ集会が行われ、核
兵器廃絶にむけた活動を交流しま
した。



新入職員紹介

しずさと診療所
検査技師 山田二郎

6月に入職しました。週1日(毎週
水曜日)の勤務でエコー検査を担当します。長く、
みどり病院で勤務してきました。日々精進を心が
けていきますのでよろしくお願いいたします。

【前号での職員紹介の訂正】しずさと診療所に入職した寺
倉恭子さんの職種を理学療法士と紹介しましたが、正しく
は作業療法士でしたので訂正します。

山楽会

日にち 8月12日(月・山の日) 雨天中止
場所 弥高寺跡(米原市 国指定史跡)
標高700m前後に古代山岳寺院跡が、眼下
には琵琶湖、湖北の街並み霊仙山など
健脚度 初級 歩行時間 3時間
集合場所・時間 しずさと診療所 8:00
持ち物 弁当、お茶、帽子、雨具、杖、登山靴
会費 200円+交通費300円

問合せ 梅村民雄 090-4232-9057
杉野茂樹 080-9832-3399

診療所・介護事業所の草取りボラに
皆さまのご協力をお願いします

日にち 7月28日(日) 雨天の場合 8月4日(日)
8月25日(日) 雨天の場合 9月8日(日)
※集合時間はいずれも午前7時
集合場所 しずさと診療所
問合せ先 正岡礼子 0584-27-5957

赤坂支部 健康サロン

「朗読で脳の活性化を図ろう」
講師 馬淵直子さん(年金者組合 朗読の会リーダー)
日にち 7月18日(木) 10:00~11:30
場所 青墓地区センター 研修室
問合せ先 宇津 0584-91-2379
玉井 0584-91-7422 高瀬 0584-71-4409

健康委員会

「防災士さんに教えてもらいましょう」
~今回は特に食料備蓄とトイレの話~
講師 NPO防災支援ネットワーク
奥田さかえさん
日にち 7月23日(火) 10:00~12:00
場所 西部研修センター
問合せ先 齋藤 090-4860-4505
*詳しくは本紙折り込みチラシをご覧ください。



多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・
親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医
療事故、消費者被害、損害賠償など。提携
弁護士がご相談をお聞きします。
日にち: 8月8日(木) 9月12日(木)
場所: しずさと診療所内
○相談時間: 午後2時~3時 ※1件あたり30分
○事前申込みが必要です。本部 0584-92-3268

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

日にち
7月11日(木) 19日(金) 24日(水) 31日(水)
8月5日(月) 14日(水) 23日(金) 29日(木)
9月3日(水) ※時間はそれぞれ12時半から
場所 三城公園 ソフトボール場
問合せ・申込先 河村秀一 090-5450-3227

一緒に働く仲間をご紹介いただけませんか?

- ◎医師 在宅医療に関心のある方
 - ◎常勤訪問看護師
 - ◎非常勤介護福祉士
- 詳細は西濃医療生協 中村まで
電話 0584 92 3268

しずさと診療所 診療案内

内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

診療所 お盆休診

8月15日(木)~8月17日(土)

		月	火	水	木	金	土
8~9時	検査	柄澤	柄澤	-	柄澤	柄澤	-
9-12時	第1診	柄澤	柄澤	柄澤	柄澤	阿川	※2
	第2診	塩澤	阿川	粕谷	岡野	粕谷	-
	第3診	-	-	-	長谷川	※1	-
14-17時	訪問診療	柄澤 塩澤	柄澤	柄澤 粕谷	柄澤	柄澤	
17-19時	第1診	塩澤		泉		柄澤	

- ※1 金曜日の第3診察室
柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。
 - ※2 土曜日の診察
第1・3土曜は柄澤医師が担当します。
第2土曜は松井医師が担当します。
第4・5土曜は小林医師が担当します。
- エコー検査・栄養指導のご案内
検査技師による心・頸動脈エコー(毎週水曜日)
管理栄養士による栄養指導(第2火曜・第4金曜)

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-1169
〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
〒503-0981 大垣市松町706

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
〒503-0981 大垣市松町1452
・介護支援センター 0584-93-1171
・デイサービスセンター 0584-93-1172
・訪問看護ステーション 0584-93-1173
・ショートステイ 0584-93-1175

▼しずさと介護支援センター不做事業所

電話 0584-71-7311
〒503-2100 不破郡垂井町地藏1-105